



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 福

上場会社名 昭和鉄工株式会社

コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本駿一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 山根譲治

TEL 092-651-2931

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,303	△5.8	△263	—	△287	—	△210	—
24年3月期第3四半期	7,750	△11.8	△200	—	△196	—	△226	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △244百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △331百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△24.92	—
24年3月期第3四半期	△26.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,162	2,633	20.0
24年3月期	14,108	2,904	20.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,633百万円 24年3月期 2,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	△4.4	△40	—	△80	—	20	△72.7	2.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 朝日テック株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	8,970,000 株	24年3月期	8,970,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	535,071 株	24年3月期	528,449 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,439,693 株	24年3月期3Q	8,442,535 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足元では政権交代による景気回復への期待感から株価の回復や為替も円安傾向となりましたが、衆議院解散・総選挙前までは中国との関係悪化や欧州債務問題等を背景とした輸出の減少、円高の長期化や株価の低迷等の景気の下振れリスクにより厳しい状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の3年目の年として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。

しかしながら、液晶パネルメーカーの設備投資縮減によりサーモデバイス機器の売上減が影響したため、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、73億3百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

損益面につきましては、前年同期に比べ経費の改善や原材料費の低減等が寄与したものの、売上高の減少をカバーするまでには至らず、営業損失は2億6千3百万円(前年同期は営業損失2億円)、経常損失は2億8千7百万円(前年同期は経常損失1億9千6百万円)、四半期純損失は2億1千万円(前年同期は四半期純損失2億2千6百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器では「ファンコイルユニット」、環境機器では「循環温浴器」「空気清浄機」の売上が拡販努力・新製品投入により順調に推移しましたが、サーモデバイス機器では前年同期のような大口出荷案件がなかったことから低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は45億6千8百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は橋梁用防護柵(高欄)等の販売、鋳造品はガスタービン関連部品の売上が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は12億1千3百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、営業強化により関東地区の有料サービス・リニューアル工事及び九州地区の設備工事の売上が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は15億2千2百万円(前年同期比17.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億4千6百万円減少し131億6千2百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が2億5千1百万円増加したものの当第3四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の売上が少ないため売上債権が11億2千8百万円減少したことなどによります。

負債については、前連結会計年度末に比べ6億7千5百万円減少し105億2千9百万円となりました。主な要因は、当第3四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の資材調達等が少ないため仕入債務が4億2千2百万円減少したことなどによります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2億7千万円減少し26億3千3百万円となりました。主な要因は、四半期純損失2億1千万円を計上したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月14日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結除外：朝日テック株式会社

平成24年11月13日付で、100%連結子会社であった朝日テック株式会社の保有株式80%を売却したため、第3四半期連結会計期間より同社を持分法適用関連会社にしております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,042	2,688
受取手形及び売掛金	4,374	3,246
商品及び製品	174	368
仕掛品	730	766
原材料	337	393
その他	126	127
貸倒引当金	△8	△4
流動資産合計	8,777	7,585
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,678	1,649
その他(純額)	1,325	1,363
有形固定資産合計	3,004	3,013
無形固定資産		
	25	42
投資その他の資産		
投資有価証券	1,735	1,987
その他	627	577
貸倒引当金	△62	△43
投資その他の資産合計	2,301	2,522
固定資産合計	5,331	5,577
資産合計	14,108	13,162
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,615	2,192
短期借入金	4,607	4,020
未払法人税等	35	37
その他	819	711
流動負債合計	8,078	6,962
固定負債		
長期借入金	938	1,310
退職給付引当金	1,617	1,651
その他	570	605
固定負債合計	3,126	3,566
負債合計	11,204	10,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	374	138
自己株式	△86	△87
株主資本合計	3,154	2,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△227	△261
為替換算調整勘定	△23	△23
その他の包括利益累計額合計	△250	△284
純資産合計	2,904	2,633
負債純資産合計	14,108	13,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,750	7,303
売上原価	6,095	5,727
売上総利益	1,654	1,576
販売費及び一般管理費	1,855	1,839
営業損失 (△)	△200	△263
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	38	38
持分法による投資利益	6	7
その他	49	16
営業外収益合計	97	68
営業外費用		
支払利息	67	66
その他	26	26
営業外費用合計	94	92
経常損失 (△)	△196	△287
特別利益		
子会社株式売却益	—	110
特別利益合計	—	110
特別損失		
貸倒引当金繰入額	12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△208	△176
法人税、住民税及び事業税	18	33
法人税等合計	18	33
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△226	△210
四半期純損失 (△)	△226	△210

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△226	△210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	0
その他の包括利益合計	△104	△34
四半期包括利益	△331	△244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△331	△244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,283	1,174	1,292	7,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	8	64	81
計	5,291	1,183	1,356	7,832
セグメント損失(△)	△20	△153	△25	△200

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△200
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△200

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,568	1,213	1,522	7,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	8	57	73
計	4,576	1,221	1,580	7,377
セグメント利益又は損失(△)	△94	△217	48	△263

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△263
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△263

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(セグメント区分方法の変更)

従来のサーモデバイス事業については、平成23年度に実施した事業構造改革に伴い、経営管理上採用している区分の見直しを行い、機器装置事業へ統合しております。また、従来、機器装置事業部が所管していたサービスマンテナンス事業については、中期経営計画を実行するための組織変更が完了したため、経営管理上採用している区分の見直しを行い、独立したセグメントとするものであります。

報告セグメントにおきましては、従来は「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サーモデバイス事業」としておりましたが、第1四半期連結会計期間から「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サービスエンジニアリング事業」としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。